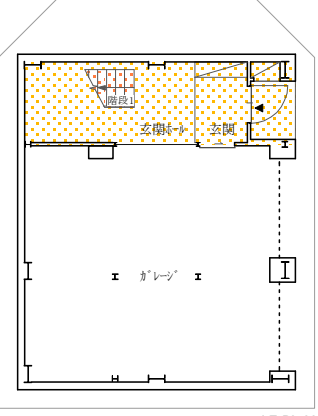
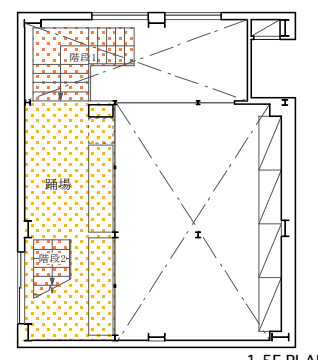
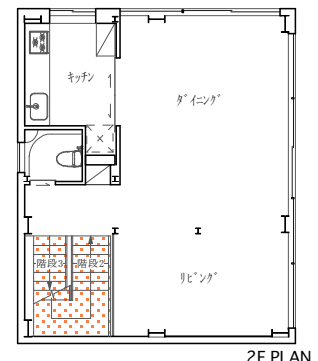
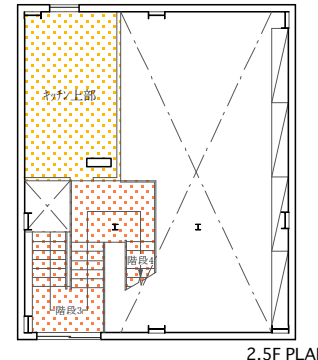
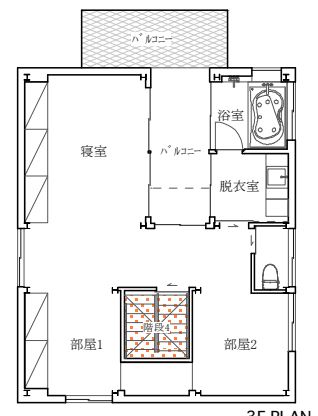


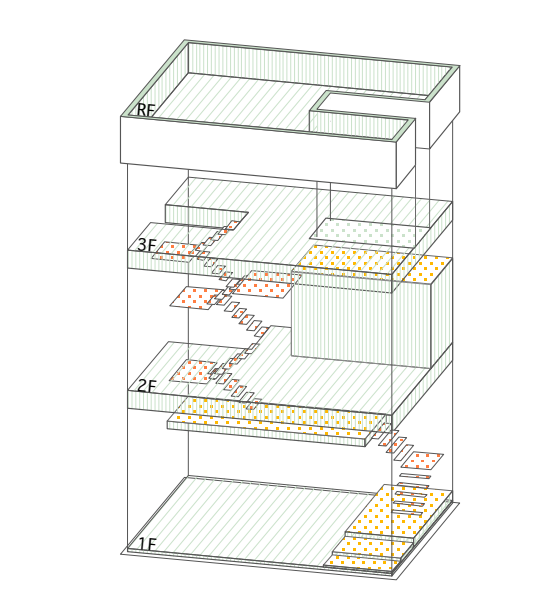
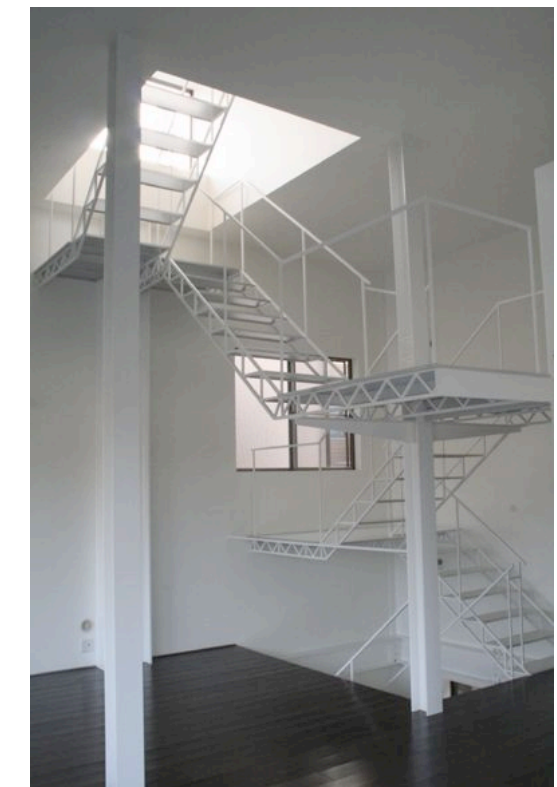
<平井-K>

所在地：東京都江戸川区
 建物用途：専用住宅
 主体構造：鉄骨造3階建
 敷地面積：90.96㎡
 建築面積：61.69㎡
 延床面積：203.20㎡



S=1:200 0 1 2 3M

東京の荒川が目の前に広がるこの敷地は都の造成計画によりできた土地である。一定の条件付で13.5mまで建物を建てられるという条例の基、立地条件の良さも考慮し、建物を制限目一杯の高さまで建てる事にした。
 法規上の観点から3階建てにする事がメリットが大きいと考え、天井高を1階4.2m、2階4.2m、3階2.4mの3層構成にした。1階はクライアントが趣味の車やバイクを眺めながら仕事ができるよう計画した。また2階LDは吹き抜けの大空間としながら2階と3階を結ぶ動線(階段)をオブジェのように扱う事で、大空間の中に水平と垂直を意識させるような計画とした。3階の一番眺めの良い場所には生活の基盤である寝室、浴室、洗面、トイレをまとめて配置し、天井高を抑える事で1,2階とは全く異なる生活感のある落ち着いた空間とした。
 構造は鉄骨造とし、外壁はコストを抑えるために木製間柱 2"×6"材を鉄骨の柱、梁から出したアングルピースに固定



した。また建物の四隅と各辺の中間に配置した大きな柱は 450×200という、通常の3階建ての住宅にはあまり使われない大きさのH鋼を、柱というよりも壁に近い扱いのものとして使用した。大きな空間の中にこの柱が現れたとしても雑多な感じにならないように、その周りの壁や床、天井などの色の扱いに配慮して計画した。
 階高が高いため上下階の繋がりが希薄になってしまうと考え、生活の主動線となる階段の形状や広さ、配置などを変化させた。これにより上下の運動に平面的な動きが加わり、各フロアに連結していく事で全体的に繋がりが持つのではないかと考えた。
 階段をスペースやオブジェとして扱えられるようにしたこの建物は、建坪が小さく階段面積の割合が大きくなってしまふ建物の、1つの在り方を提案出来たのではないかと思います。

